

第10回日本組織適合性学会大会のご案内

第10回日本組織適合性学会大会
大会長 笹月 健彦

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第10回日本組織適合性学会大会を下記の要領で開催致します。皆様の多数のご参加をお待ち致しております。

会 期：2001年11月1日（木）～2日（金）

会 場：シーホークホテル&リゾート

〒810-8650

福岡市中央区地行浜2-2-3

TEL:092-844-8111 FAX:092-844-7887

交 通：タクシー

福岡空港～（福岡都市高速百道ランプ）～ホテル 約20分

博多駅～（福岡都市高速百道ランプ）～ホテル 約15分

地下鉄天神駅～（福岡都市高速百道ランプ）～ホテル 約10分

地下鉄

福岡空港～唐人町駅下車～ホテル 約32分

博多駅～唐人町駅下車～ホテル 約27分

天神駅～唐人町駅下車～ホテル 約20分

*地下鉄唐人町駅より徒歩約15分を含む

バス

博多駅交通センター～ホテル 約20分

天神西鉄バスセンター前～ホテル 約15分

天神から西鉄バス定期便14、44、45、200、201、204、305番

博多駅から37、39、305、306番をご利用下さい。

I. 大会内容

今回は以下のような学術プログラムを予定しています。

1. 特別講演「International collaboration in studying HLA」

座長：Paul Terasaki (Terasaki Foundation Lab.)

"HLA-the state of the Arts"

Dominique Charron (Inst. Cordeliers, Lab. Immunogenet.)

座長：Takehiko Sasazuki (Kyushu University)

"Development of a human MHC database"

John Hansen (Fred Hutchinson Cancer Res. Ctr.)

2. シンポジウム I 「MHC—総合ゲノム科学の視点から」

座長：笠原 正典（総合研究大学院大学）

"MHCから見たゲノム進化の典型と非典型"

"MHCのゲノムダイナミクス：ゲノムパラロジの視点から"

"ポストゲノムシーケンシング解析のモデル領域としてのMHC"

—ゲノム多様性解析と比較ゲノム解析—

"硬骨魚メダカを用いたMHCの比較ゲノム学的解析"

"Origins and divergence times of different MHC gene clusters in vertebrate"

五條堀 孝（国立遺伝研）

笠原 正典（総合研究大学院大）

猪子 英俊（東海大）

野中 勝（東京大）

Masatoshi Nei

(Pennsylvania State Univ.)

3. シンポジウム II 「MHC—免疫システムの中心に据えて」

座長：福井 宣規（九大）

"HLAクラスII分子を介したシグナルによる免疫応答制御"

"TCR-MHC-ペプチド複合体相互作用の動力学的熱力学的解析"

"樹状細胞における抗原プロセッシングとMHC分子への

ローディングならびにT細胞活性化機構"

"T細胞レパートリー形成におけるTCR-MHC／ペプチド

複合体相互作用"

"TCR-peptide/MHCによる抑制性シグナルと自己免疫応答の制御"

松下 祥（熊本大）

小園 晴生（東京理科大）

稲葉 カヨ（京都大）

福井 宣規／笹月 健彦（九大）

中野 直子（東京理科大）

4. シンポジウム III 「MHCと移植」

座長：笹月 健彦（九大）

"Genetics of hematopoietic stem cell transplantation"

"HLA多型と非血縁者間骨髄移植—クラス・マッチングの重要性—"

"Impact of HLA matching for kidney transplantation"

"アロ認識の分子機構"

"Ig-like receptorの分子認識機構"

"Minor histocompatibility antigens"

John Hansen

(Fred Hutchinson Cancer Res. Ctr.)

笹月 健彦／山本 健（九大）

Paul Terasaki

(Terasaki Foundation Lab.)

宇高 恵子（京都大）

前仲 勝実（国立遺伝研）

十字 猛夫（日赤中央血液セ）

5. シンポジウム IV 「多因子疾患の遺伝要因としてのHLA」

座長：西村 泰治（熊本大）

"マイクロサテライト多型を用いたHLAと関連する疾患の
遺伝子マッピングと同定"

"多因子疾患におけるHLAとnon-HLA遺伝子の相互作用"

"HLAクラスII多型と自己免疫疾患"

"アトピー型喘息とHLA"

"慢性関節リウマチの疾患遺伝子

—遺伝的寄与に関する検討と考察—

"自己免疫性甲状腺疾患の疾患感受性遺伝子の同定"

猪子 英俊（東海大）

徳永 勝士（東京大）

西村 泰治（熊本大）

有波 忠雄（筑波大）

塩澤 俊一（神戸大）

白澤 専二／笹月 健彦（九大）

6. シンポジウム V 「Non-classical MHC」

座長：猪子 英俊（東海大）

"CD1－その構造と機能の保存性と多様性－"

"MHCクラスI関連遺伝子MR1の解析"

"HLA-Gの発現と機能－HLA-E、-Fとの相互作用において－"

"MICとCD1遺伝子領域のゲノム構造"

"Zn- α 2-glycoproteinの構造とその多様な生理機能"

"マウスTL抗原"

松浦 晃洋（藤田保健衛生大）

橋本 敬一郎（藤田保健衛生大）

石谷 昭子（奈良県立医大）

猪子 英俊（東海大）

大久保 岩男（滋賀医科大）

小幡 裕一（愛知がんセ）

7. 会員研究発表

今回は全員の方に口演発表を出来る限り多数の方にして頂けるようプログラム編成を行う予定ですが、発表形式（口演発表と示説発表）につきましてはプログラム委員会に一任下さいますようお願い申し上げます。

II. 演題抄録申し込み要項

1. 申し込み方法

a. 演題抄録

- ・演題名、発表者名（発表者の前に○印を付記して下さい）、所属、本文の順に記載して下さい。
- ・抄録本文は、800字以内（25文字×32行）とし、英数字は半角文字を使用して下さい。
- ・文字の大きさは演題名のみ12pt活字、それ以外は10pt活字を使用して下さい。
- ・字体は明朝体でお願い致します。
- ・A4版でプリントアウトした演題抄録原稿1部とそのコピー5部を同封して下さい。

b. フロッピーディスク（3.5インチ, 2HD）

下記の2つのファイルをテキスト形式にて保存し、お送り下さい。

なお、ディスクには所属、氏名、使用したワープロソフト、システム名（Windows または Macintosh）を記載して下さい。

- ・演題抄録（ファイル名はローマ字発表者氏名1、例 T.Sasazuki 1）
- ・演題抄録とは別に、演題名、発表者名、所属（ファイル名はローマ字発表者氏名2、例 T.Sasazuki 2）

c. 演題申込表

演題申込票(A)に必要事項をご記入の上、提出して下さい。

d. 演題抄録受領通知と発表形式通知

演題抄録受領通知及び発表形式通知のハガキ(B、C)に切手と必要事項をご記入の上、提出して下さい。

e. a～dを各自適当な封筒を用意し、表に「抄録在中」と朱書きの上、書留郵便でご送付下さい。

f. 演題申し込み用check 項目

- ・抄録原稿（A4版）1部 コピー 5部 ☐
- ・フロッピーディスク（2HD） ☐

- ・演題抄録ファイル ☐
- ・演題名、所属、氏名ファイル ☐
- ・演題申込票(A) ☐
- ・演題抄録受領通知ハガキ(B) ☐
- ・発表形式通知ハガキ(C) ☐

2. 演題抄録申し込み締め切り日

2001年6月30日(消印有効)

3. 演題抄録申し込み先

〒812-8582

福岡市東区馬出3-1-1

九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門

第10回日本組織適合性学会大会事務局

4. 研究発表形式通知

研究発表形式および発表日時につきましては、2001年7月下旬頃に通知致します。

V. 大会参加

大会参加費(5,000円)は大会当日受付でお支払い下さい。

ネームカード(領収書兼用)をお渡し致します。

VI. 懇親会

2001年11月1日、19時頃より懇親会を開催致します。

学会受付にて大会参加費をお支払いの際に、お申し込み下さい。

懇親会費:5,000円

VII. 宿泊と航空券のご案内

第10回日本組織適合性学会大会を福岡にて開催するにあたり、大会に参加される方の便宜をお図りするため、JTBに宿泊*と航空券のお世話を頂くことに致しました。皆様の御来福とご利用をお待ち申し上げます。

*学会会場のシーホークホテル&リゾートとの交渉により、学会割引でご宿泊ができます。

VIII. 大会についてのお問い合わせ

〒812-8582

福岡市東区馬出3-1-1

九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門

第10回日本組織適合性学会大会事務局

TEL:092-642-6828 FAX:092-632-0150

E-mail: hla2001@bioreg.kyushu-u.ac.jp

第5回HLA DNAタイピングQCワークショップのご案内

日本組織適合性学会

HLA標準化委員会

委員長 前 田 平 生

第10回日本組織適合性学会大会

大会長 笹 月 健 彦

拝 啓

早春の候、先生方におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、日本組織適合性学会では、昨年度に引き続き、タイピング技術・データの信頼性向上を目的に、DNAタイピングのクオリティコントロール（QC）ワークショップを下記の要領で開催いたします。本ワークショップの成果は第10回日本組織適合性学会大会前日に討議されます。また、本年度は認定HLA検査技術者制度の発足も予定されており、本制度とQCワークショップとの関連につきましても、討議を行いたいと考えておりますので、多数の皆様の参加をお待ちしております。

尚、本年度から、QCワークショップへの参加は、有料となります（個人参加 2,000円 1名参加のみ、施設参加 10,000円 5名まで参加可能）。よろしく御理解下さい。

敬 具

記

1. スケジュール

平成13年5月中 血液（DNA）サンプルの配布（6種類を予定）
平成13年7月下旬 データ提出締め切り

2. 参加申し込み

別紙の申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にてお送り下さい。
その際、下記の口座に参加費の振込をお願いいたします。

締め切り日は、平成13年4月28日（土）です。

3. 振込口座

銀行名：富士銀行 青山支店（211）
口座番号：2987844
名 義：日本組織適合性学会 事務局 十字猛夫